

○水生生物モニタリング調査結果一覧（新田川E）

<新田川E 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
E-2 a	○	○	○	○	○	○

<新田川E 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)		
E-2 a	37.6640°	140.9447°	H30.9.7	12:28	12:59	22.9	23.4	砂	2.5Y3/2	なし	0.45	>50		

<新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
E-2 a	37.6640°	140.9447°	H30.9.7	12:28	7.4	0.5	3.6	9.7	7.8	0.05	1.4	3	2.8	0.0047	0.050	0.0020

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)			
E-2 a	37.6640°	140.9447°	H30.9.7	12:59	7.1	337	13.6	1.5	2.6	2.708	33.6	28.8	23.5	11.5	2.6	1.3	4.8	46	460	0.23

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<新田川E 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
E-2 b	新田川本流	37.6635°	140.9452°	H30.8.26	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0085	—	—	—	696	66	630	—
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	88	0.020	幼虫	—	—	182	12	170	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	94	0.029	幼虫 (ヤゴ)	—	—	52.5	5.5	47	—
					節足動物	昆虫	トンボ	ササエトンボ	<i>Meligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	ササエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	ササエトンボ	<i>Davidius sp.</i>	ダビドサナエ属									
					節足動物	昆虫	トンボ	ササエトンボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ									
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	8	0.0062	幼虫	—	—	143	13	130	—
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>	ヤマトクロスジヘビトンボ									
					節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	3	0.046	成体	—	—	48.3	4.3	44	—
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	12	0.017	成体	—	—	27	N. D. (11)	27	—
					節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	430	0.044	未成体/成体	—	—	51.3	5.3	46	—
					節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクスガニ	10	0.11	未成体	—	—	52.1	4.1	48	—
					軟体動物	腹足	盤足目	カワナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワナ	30	0.029	成体	—	軟体部	35.3	3.3	32	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	114	1.9	未成魚/成魚	—	—	29.8	2.8	27	0.50
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	33	0.19	未成魚	—	—	29.7	2.7	27	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	カマツカ	4	0.10	未成魚/成魚	—	—	30.6	3.6	27	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Candidia temminckii</i>	カワムツ	15	0.094	未成魚	—	—	19.6	2.6	17	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	1	0.018	未成魚	—	—	95	13	82	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	2	0.027	未成魚	—	—	30.2	2.2	28	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Acheilognathus melanogaster</i>	タナゴ	5	0.012	未成魚/成魚	—	—	75.7	8.7	67	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	タモロコ	7	0.038	未成魚/成魚	—	—	45.8	5.8	40	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	ニゴイ	179	0.54	未成魚	—	—	22.9	1.9	21	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Pseudorasbora parva</i>	モツゴ	6	0.024	成魚	—	—	21.3	2.3	19	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	9	0.044	未成魚/成魚	—	—	15.5	1.5	14	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	22	0.35	未成魚/成魚	—	—	71.2	5.2	66	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ	6	0.021	成魚	—	—	44.0	4.0	40	—
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	キギ	<i>Tachysurus tokiensis</i>	ギバチ	12	0.012	未成魚	—	—	16	N. D. (3.5)	16	—
脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	70	0.13	幼生 (オキナゲ)	—	—	695	65	630	—					
粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	0.28	—	—	—	186	16	170	—					
E-4	新田川本流	37.6485°	140.9630°	H30.9.1	脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	11	0.30	未成魚/成魚	—	—	51.5	4.5	47	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落したものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。